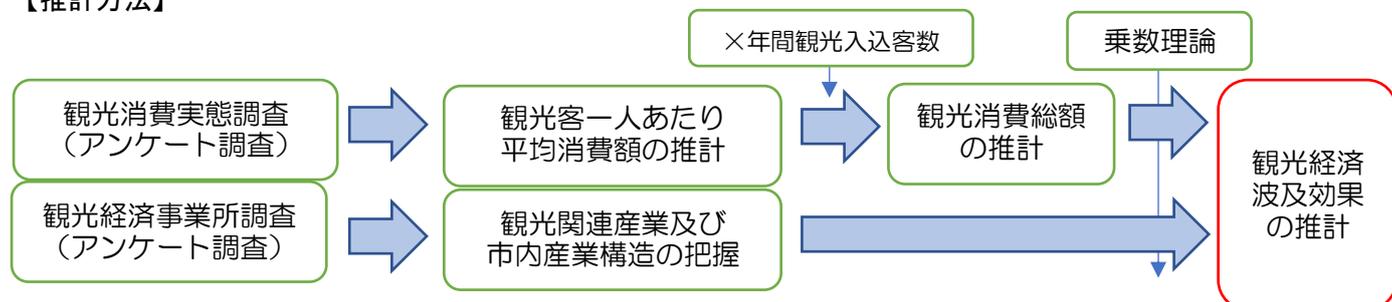


平成 30 年度 富良野市観光経済調査 概要版

1. 観光経済波及効果の推計

富良野市に来訪した観光客へのアンケート調査、富良野市内の事業所へのアンケート調査を通じ、乗数理論と呼ばれる手法に基づき観光経済波及効果（観光客の消費がもたらす経済波及効果）を推計しました。

【推計方法】



【推計結果】

・平成 30 年度の年間観光消費総額は 274 億円、観光経済波及効果は 465 億円と推計されました。

項目	今回調査	H25調査
①年間観光総消費額	274億円	240億円
②観光関連産業の所得による効果	50億円	48億円
③観光関連産業の原材料等調達による効果	123億円	117億円
④全産業の所得による効果	18億円	24億円
合計	465億円	429億円
乗数効果（合計／①年間観光総消費額）	1.70	1.79

2. 観光に関する住民意識調査

富良野市民の観光に関する住民意識調査（アンケート調査）を実施しました。

【調査方法】

・居住地区、年齢、性別等のバランスを考慮し、住民基本台帳から抽出した 1,000 名に調査票を郵送し、301 名から回答を頂きました。

【調査内容】

・観光への意識／観光振興の影響（プラス面、マイナス面）／観光客の受入に対する意識・観光客との接点・交流／観光地としての目指す姿 等

【調査結果（抜粋）】

①観光への意識

・観光客が増えていること、知名度が向上していることは 8 割以上の方が「好ましい」「誇らしい」と回答しています。

②観光振興の影響

・プラスの影響としては、「まちが賑わい活気が出る」、「イメージがアップする」、「インフラ整備が進む」といった回答が多くなっています。

・マイナスの影響としては、「ゴミが増える」、「農地が荒らされるなど他産業に影響」、「交通渋滞が発生」といった回答が多くなっています。

③観光客との接点

・「接点を持ちたい」とする回答は 40.5%となっています。接点の内容としては、「宿泊・購買・飲食等仕事を通じた直接的な接点」や、「観光客との文化イベントを通じた交流」といった回答が多くなっています。

・「接点を持ちたくない」とする回答は 40.2%となっています。接点を持ちたくない理由としては、「静かに暮らしたい」、「文化や習慣の違いに戸惑いがある」といった回答が多くなっています。

④観光地としての目指す姿

・「環境に配慮した持続可能な観光地」(66.1%)、「観光地としての発展より、住民の生活を重視してほしい」(36.5%)、「通年で多くの観光客が国内外問わず訪れる国際リゾート地」(23.9%)といった回答が多くなっています。